

～学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業の取組事例～

子どもから大人まで誰でも参加し学び合える「ならはキャンパス」（福島県楡葉町）

ならはキャンパス

- 移転先のいわき市に開設をし、楡葉町の住民を対象とした子どもの学習支援、保護者同士の交流、コミュニティ・キッチン等の企画運営等、学びを中心にして、地域住民が交流するきっかけをつくる。
- 震災による学習環境が悪化し、学習遅れがある子どもの学力補強を行う。

取組の概要

6つの事業を企画・運営をする。

○児童生徒向け放課後補習教室「ゆずり葉学習会」

学習支援員等が放課後等の生徒の安全で安心な居場所を確保する。教育委員会、学校の教職員と連携しながら、実施内容と時間割を作成。学習補助の他高校や大学進学に向けたアドバイスを行う。

○ICTを利用した遠隔型個別学習支援

学習遅れの解消のために、ICTを利用した学習進度に合わせた学習ドリルによって学び直すと共に、学習支援員による学習計画等の指導も行う。

○ならはスポーツクラブ

スポーツイベントや講座の実施。試合相手の招へい、地域のスポーツクラブの紹介などを行う。スポーツや体験活動を通じた体力増強を行うことで、学習上必要な集中力、筋力、根性を身につける。

○定例子ども会議

講座作り、町づくりに子どもの意見を取り入れる。調べ学習の延長。大学生ボランティアや地域の方々と一緒に将来のキャリア等について学ぶ。他の自治体の取り組みを実際に視察して取り入れる。

○子育て世帯の保護者の茶話会

教育上の悩みや生活上の悩みなど子育ての悩みを話し合い、保護者同士や地域の資源で解決する。外部の力が必要な場合は、地域教育コーディネーター等がとりまとめて検討し、関係機関と協議する。

○ならはコミュニティ・キッチン

食材を持ち込めば、料理ができる。地域の味を食材の選び方や伝統的な料理法まで徹底的に教え込む。炊出しによる地域の交流の場になる。



ゆずり葉学習会

教育・学習環境整備

「生き抜く力」の獲得
いじめ、不登校、犯罪の防止

教育

社会保障

ICT等を活用した
キャリア教育・海外交流

コミュニティ・ワークなど
地元産業の再開、雇用創出

復興を支える人材
の育成

産業・経済

生活資金のつなぎ
次の就職へのつなぎ
コミュニティのつなぎ

- 子どもの「生き抜く力」の獲得の為に、学習支援をキャリア教育と地域の人材活用を合わせて行う。

特徴・期待される効果



ゆずり葉学習会